

集落支援の知恵袋

— 集落を支える実践と工夫のナレッジベース —
使い方マニュアル

令和8年(2026年)3月

兵庫県 企画部 地域振興課

目次

1. 「集落支援の知恵袋」の目的
2. 「集落支援の知恵袋」の申請・使い方
3. 「集落支援の知恵袋」の閲覧方法
4. 「集落支援の知恵袋」の入力・更新方法
5. Q&A(こういう時どうする?)

はじめに –「集落支援の知恵袋」とは–

「集落支援の知恵袋」とは

「集落支援の知恵袋」は、「集落のワガゴト化ツール」、「支援者が見立てるツール」を使いながら(あるいは、それに類する集落情報や集落の状況・課題の見立てを行った上で)、実際に集落で支援者として取り組んだ支援内容、その過程や工夫、その結果(集落における変化)をアーカイブ化したデータベースです。

他の支援者が関わった類似の支援案件(アーカイブ事例)から、支援の過程(プロセス)や工夫(知恵)、結果を把握することで、自らの支援策の参考とすることを期待して作成を進めています。



「集落支援の知恵袋」とは

どんなツール？

支援に関わる関係者が、集落の支援方針や支援内容・方法を検討する際に参考にするツール

誰が使うの？

地域づくり支援者の皆さん

例えば…市町職員、多自然地域づくりアドバイザー、中間支援組織の方など

いつ使うの？

支援対象の集落に対し、どのような支援をすればいいのか検討する時など

集落の状況を把握

集落の特徴を踏まえて、
どんな支援しようか？

同じ特徴の集落では、
どのような支援が行
われたのだろうか？

この集落の特徴は
概ね把握できた



支援者

支援方針の検討 & 支援の実施

「集落支援の知恵袋」から、
工夫点、留意点などを学ぼう

集落支援の知恵袋

(地域振興課) 集落の知恵袋～集落を支える実践と工夫のナレッジベース～ 閲覧用ページ

この「知恵袋」から地域再生アドバイザー（作成者）及びデータにより事例を検索できます。
※ページに記載の内容を複製、引用、転送などはお控えください。

地域	人口（区分）	世帯数（区分）	高齢化率（区分）	支援のエリア	集落の特徴	集落タイプ
東信濃	301～200人	31～200世帯	41～60%	第一集落・自治会	農村型	山間部集落
南信濃	21～20人	～20世帯	61～80%	第一集落・自治会	山村型	山間部集落
信州	301～200人	31～200世帯	41～60%	第一集落・自治会	山村型	山間部集落
信州	～20人	～20世帯	61～80%	第一集落・自治会	山村型	山間部集落
信州	1001人～	1001世帯～	20～40%	小学校区・小学校校区	市街地型	市街地集落

どうやって
使うの？

「集落支援の知恵袋(データベース)」にアクセスし、類似した集落や支援テーマなどを絞り込み(検索して)、支援時の過程(プロセス)や工夫(知恵)、結果を知る。それらも参考に、自らの支援策の参考とする

1.「集落支援の知恵袋」の目的

1-1.「集落支援の知恵袋」の目的

支援者のノウハウを蓄積し、支援の方針や方法の検討を手助けします。

1.「過去に行われた支援内容と結果」を支援者どうしで共有する

- 支援者は、個別の集落支援ごとに「どのような支援が適切か」を検討することが求められます。
- 経験の少ない支援者が、自信を持って集落支援を実行するために、「先輩支援者がどのような支援方針や意図のもとアクションをとり、その結果どうなったか」を把握することができます。

2.「支援のプロセス」が分かる

- 集落支援の現場では、想定と異なったこと、よい変化やよくない変化などが起こります。また、支援を続けていると「集落の潮目や空気が変わる場面(瞬間)」があります。
- 知恵袋の活用により、「支援内容により、集落にどのような変化が起きたか」といったプロセスを知ることができます。

3.「支援ノウハウのアーカイブ」として活用する

- 兵庫県として、様々な支援者が保有する支援のノウハウをアーカイブ化し、ナレッジベースとして蓄積することで、今後の集落支援のベースアップを図っていきます。
- なお、過去の支援のノウハウをそのまま適用するものではなく、あくまで参考にするものです。
※集落支援の「解答」を知るのではなく、「解法」や「ヒント」を知るツールです。

1-2.「集落支援の知恵袋」の全体像



POINT!

支援者による支援者のためのデータベース

A: 支援実績の入力 (また入力内容の更新)

- ① 集落への支援を実施
- ↓
- ② 支援実績等を整理
- ↓
- ③ 支援実績等を「集落支援の知恵袋」のフォームに入力して登録
※1プロジェクトごとに入力

集落支援の知恵袋

過去に行われた支援実績、ノウハウを蓄積したデータベース(Kintoneで構築)

(地域振興課) 集落の知恵袋～集落を支える実践と工夫のナレッジベース～ 閲覧用ページ

※この「知恵袋」から地域再生アドバイザー(作成者)及びデータにより事例も検索できます。
※ホームページに掲載の情報を掲載、引用、転載などはお断りください。

地域	人口(世帯)	世帯数(世帯)	集落化率(世帯)	集落のエリア	集落の特性	集落のタイプ
東海郡	101~200人	31~100世帯	41~60%	第一集落、第二集落	農村型	ノリノリ集落
東海郡	401~1000人	201~400世帯	30~40%	第一集落、第二集落	農村型	カリスで頑張る型
信濃	401~1000人	201~400世帯	41~60%	小学校区・旧小学校区	山村型	カリスで頑張る型
中津郡	401~1000人	201~400世帯	41~60%	第一集落、第二集落	山村型	カリスで頑張る型
西海郡	21~100人	~20世帯	41~60%	第一集落、第二集落	山村型	ほがらかのんびり型
信濃	101~200人	31~100世帯	41~60%	第一集落、第二集落	山村型	集落集落
信濃	~20人	~20世帯	41~60%	第一集落、第二集落	山村型	ほがらかのんびり型
信濃	1001人~	1001世帯~	30~40%	小学校区・旧小学校区	山村型	カリスで頑張る型

県が設置・管理

支援者同士でノウハウを蓄積・共有し、
集落支援のベースアップをめざす
(みんなで知恵袋を作り上げていく)

支援者(=「集落支援の知恵袋」の利用者)



「集落支援の知恵袋」の利用には、
県への申請・承認が必要

B: 支援案件の閲覧(利用)

- ① 「支援テーマ」などのキーワードごとに支援案件を検索して閲覧(利用)
- ↓
- ② 支援案件から、支援のプロセスや、工夫(知恵)、結果等を把握
- ↓
- ③ 自身が関わる集落支援に役立てる

1-3.「集落支援の知恵袋」の運用ルール

●「集落名」と「支援者の連絡先」は非公開情報とします

- ・集落支援の詳細を知りたい場合は、県を通じて、記入者(支援者)に連絡を取ることにします。

●利用者は、「県に申請があった地域支援者」とします

- ・市町担当者、社会福祉協議会、中間支援組織、多自然地域づくりアドバイザーなどを想定します。
- ・利用にあたっては、県に申請を行い、メールアドレスにより利用登録を行うものとします。

●「集落支援の知恵袋」の閲覧には、下記のルールを遵守することとします

- ・「集落支援を検討する場面」に限って利用することとします。
- ・「集落支援の知恵袋」の内容については、他言、引用、転送、印刷などは一切禁止とします。
- ・フリーライドではなく、ギブ&テイクをめざします(仕組み化は難しいが姿勢として)。

●「集落支援の知恵袋」の入力には、下記の運用を想定します

- ・日々の追加により、「集落の知恵袋」が少しずつ更新されることをめざします。
- ・多自然地域づくりアドバイザーの方は活動報告のタイミングと合わせるなど、負担の少ない入力方法を検討しています。

2. 「集落支援の知恵袋」の申請・使い方

2-1.「集落支援の知恵袋」の利用方法

STEP 1

「集落支援の知恵袋」の利用には、事前申請が必要です
➡詳しくはP12へ



登録したメールアドレスに届くリンクからアクセスし、メールアドレスを入力すると各サイトに入れます
➡詳しくはP12へ

STEP 2

入力

以下のサイトから、支援実績の入力や内容の更新ができます。

✓ 入力用サイトはココ

✓ 更新用サイトはココ

➡詳しくはP17へ

閲覧

以下の閲覧用サイトから、支援案件の閲覧(利用)ができます。

地域	人口 (区別)	世帯数 (区別)	高齢化率 (区別)	支援のエリア	集落の特性	集落タイプ
東播磨	101~200人	51~100世帯	41~60%	単一集落・自治会	農村型	ノリノリ集落
東播磨	401~1000人	201~400世帯	20~40%	単一集落・自治会	農村型	カリスマ格闘家型
但馬	401~1000人	201~400世帯	41~60%	小学校区・旧小学校区	山間部型	カリスマ格闘家型
中播磨	401~1000人	201~400世帯	不明	複数集落・自治会	農村型	カリスマ格闘家型
西播磨	21~50人	~20世帯	41~60%	単一集落・自治会	山間部型	はがらかのんびり型
但馬	101~200人	51~100世帯	不明	単一集落・自治会	山間部型	無農集落
但馬	~20人	~20世帯	61~80%	単一集落・自治会	山間部型	はがらかのんびり型
但馬	1001人~	1001世帯~	20~40%	小学校区・旧小学校区	市街地型	カリスマ格闘家型

✓ 閲覧用サイトはココ

➡詳しくはP14へ

2-2.「集落支援の知恵袋」の申請

●「集落支援の知恵袋」の利用には、**事前申請が必要**です

- ・リアルな支援プロセス・ノウハウを収集するため、一般に公開していません。
- ・「集落支援の知恵袋」の利用には、下記の担当課に申請する必要があります。

「集落支援の知恵袋」利用申請フォーム

●申請を受けて、担当課で登録の手続きを行います

●登録の手続きが済み次第、申請者にその旨を連絡します



POINT!

「集落支援の知恵袋」の利用は、県内で集落支援等を行う方(*)を想定しています。

※：市町職員、多自然地域づくりアドバイザー、中間支援組織の方 など

※今後、使用状況に応じて、登録可能な範囲を拡大する可能性があります。

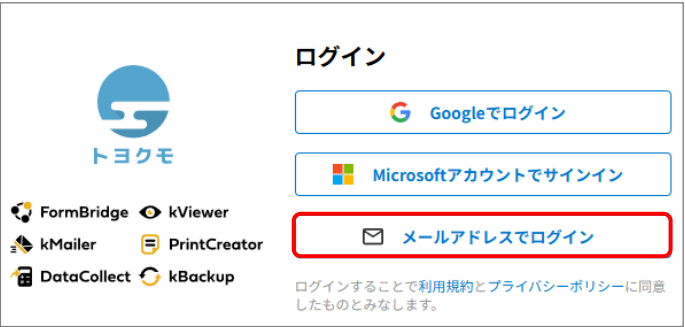
2-3.「集落支援の知恵袋」へのアクセス

●「集落支援の知恵袋」のサイトにアクセスします

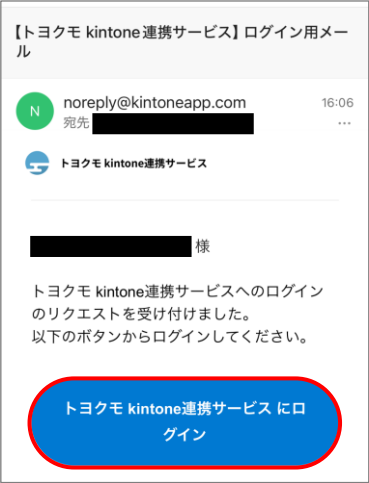
・「閲覧用」、「入力用」、「更新用」の3種類のサイトがあります。

閲覧用サイト	入力用サイト	更新用サイト
https://x.gd/Phzyp	https://x.gd/yZMLU	https://x.gd/iNyhE

● 登録されたメールアドレスを入力することで、サイトに入れます



- ・「集落支援の知恵袋」のサイトにアクセスするとログインが求められます
- ・登録されたメールアドレスでログインします



- ・登録されたメールアドレスにログイン用のメールが送信されます



- ・各サイトに入れます

3 . 「集落支援の知恵袋」の閲覧方法

3-1.「集落支援の知恵袋」の閲覧方法

(地域振興課) 集落の知恵袋～集落を支える実践と学びのまじりこみページ～ 閲覧用ページ

右上の「検索」から事例の検索を行うことができます。なお、本データベースに記載の内容を他言、引用することはできません。

こちらに「入力用ページ」より入力された支援実績のデータが一覧で表示されます。

レコード番号	地域	人口（区分）	世帯数（区分）	高齢化率（区分）	支援のエリア	集落の特性	集落タイプ	支援テーマ	最終更新日時	支援状況	作成者
14	神戸	～20人	～20世帯	20%未満	単一集落・自治会	農村型	ノリノリ集落	ワガゴト化（きかけつくり）	令和7年11月25日 20時28分	支援継続中	テスト

「詳細」をクリックいただくと、支援実績の詳細を確認することができます(次ページ参照)

各行が一つの事例になっています

検索フォームから地域等の項目ごとに支援実績の検索を行うことができます

ログアウトを行う場合は、こちらをクリックください

提供元によりアクセス制限されています。ログアウトはこちら

[他のページを一覧から探す](#)

3-1.「集落支援の知恵袋」の閲覧方法

(地域振興課) 集落の知恵袋～集落を支える実践と工夫のナレッジベース～

右上の「検索」から事例の検索を行うことができます。
なお、本データベースに記載の内容を他言、引用、転送などはお控えください。

(地域振興課) 集落の知恵袋～集落を支える実践と工夫のナレッジベース～[閲覧用ページ](#)>[詳細情報](#)

Q 検索

フィールド

地域

式

含む

値

+

☒ すべての条件を満たす

☐ いずれかの条件を満たす

Q 検索

1. 集落（地域）の概況

地域	人口	世帯数	高齢化率	人口・世帯数・高齢化率情報の時点
神戸	100人	100世帯	100%	令和●年●月時点

支援のエリア

単一集落・自治会

支援のエリア（その他を選択した場合記載）

集落の特性

農村型

集落の特性（その他を選択した場合記載）

集落の特徴

テスト

集落の課題

テスト

2. 集落の見立て

A 多世代交流・活躍

役割活躍型

一覧に戻る場合はこちらをクリックください

入力データが表示されます

以下のページは画面上でスクロールすれば表示されます

4.「集落支援の知恵袋」の入力・更新方法

4-1.「集落支援の知恵袋」の入力フォームの構成

「集落支援の知恵袋」の入力フォームは、以下の3つで構成されています。

① 集落(地域)の概況

【地域振興課】集落の知恵袋～集落を支える実践と工夫のナレッジベース～ 事例入力用ページ

1 集落(地域)の概況

下記により、集落(地域)の状況について、入力をお願いいたします。

地域

☒ 神戸 ☐ 阪神南 ☐ 阪神北 ☐ 東播磨 ☐ 北播磨 ☐ 中播磨 ☐ 西播磨 ☐ 但馬 ☐ 丹波

☐ 淡路 ☐ 島外

支援を行った「地域」を選択ください。

集落(地域)名 ※非公開

○○市○○自治会

支援を行った「集落(地域)名」を入力ください。入力いただいた具体的な「集落(地域)名」は閲覧ページ上、非公開となります。

人口(単位:人) **人口(区分)**

☒ ~20人 ☐ 21~50人 ☐ 51~100人 ☐ 101~200人

☐ 201~500人 ☐ 501~1000人 ☐ 1001人以上 ☐ 不明

② 集落の見立て(支援に入る前)

【地域振興課】集落の知恵袋～集落を支える実践と工夫のナレッジベース～ 事例入力用ページ

2 集落の見立て(支援に入る前)

各集落の状況を踏まえ、集落の見立てを下記により行ってください。

各集落パターンの判断については[こちら](#)を参照ください。

パターンA 多世代交流・活躍

☐ 役員活躍型 ☐ 全員参加型 ☐ 高齢者主導型 ☐ 世代交代型 ☐ 外部参画み型 ☐ その他

集落内の「多世代交流・活躍」の状況について、各パターンより選択ください。

その他を選択した場合記載

「その他」を選択された場合は、その詳細を入力ください。

パターンB 情報共有

③ 支援の方針、支援の内容

【地域振興課】集落の知恵袋～集落を支える実践と工夫のナレッジベース～ 事例入力用ページ

3 支援の方針、支援の内容

支援テーマ

☒ ワグゴト化(きかけつくり) ☐ ビジョンづくり ☐ 自治会再編 ☐ アンケート調査 ☐ RMO形成

☐ RMO運営支援 ☐ イベント企画 ☐ 空き家 ☐ 防災 ☐ デジタル ☐ その他

支援を行った際のテーマを選択ください。

その他を選択した場合記載

「その他」を選択された場合は、その詳細を入力ください。

集落の支援方針(見立てた原則)



- ・「入力(登録)負担の軽減」&「検索性を持たせる」ことから、可能な限り、選択肢を設定していますが、**微妙な表現(ニュアンス)、集落の特性などもあるため、自由記述欄(備考欄)も設けています。**
- ・**選択肢で示しきれない場合は、自由記述欄(備考欄)にも記載をお願いします。**

4-2. 入力する項目(内容)

1 集落(地域)の概況

支援した集落の概況(どのような集落か)を記入します。

入力項目

- ☐ 地域(エリア)
- ☐ 集落(地域)名 ※集落(地域名)は公開されません
- ☐ 人口(単位:人)、人口(区分)
- ☐ 世帯数(単位:世帯)、世帯数(区分)
- ☐ 高齢化率(単位:%)、高齢化率(区分)
- ☐ 支援のエリア
- ☐ 集落の特性
- ☐ 集落の特徴(自由記述)
- ☐ 集落の課題(自由記述)

「どんな集落か」が分かるように、数値で現れない特徴を記載してください

- サポートツール「集落基礎データ集」、「集落の見立てカルテ」を用いることを想定しています。
- 検索性を高めるために、チェックリストで選択できるように作成していますが、人口などは正確な数値をご記入ください(いつの時点の数値化なのかもご記入ください)。

4-2. 入力する項目(内容)

2 集落の見立て

実際に集落を視察したり、役員と対話する中で、「集落の特徴をどのように見立てたのか」を記入します。

入力項目

- ☐ 集落パターン
 - パターンA 多世代交流・活躍
 - パターンB 情報共有
 - パターンC 地域の一体性
 - パターンD 活動

下記&次ページを参照

- ☐ 集落タイプ
- ☐ 集落の総評
- ☐ 集落の将来像

支援に入る前に、集落に対して感じたこと・課題だと思ったことを記載してください

どのような集落になればいいのか、想定した将来像を記載してください

- 集落の見立てにあたっては、支援者同士で共通の認識を持つために、参考指標として「集落の簡単なパターン分け・タイプ分け(=共通言語化)」を図っています。

※次ページ以降を参考にしてください(昨年度に作成した「集落の見立てツール」)

4-2. 入力する項目(内容)

集落の見立て

集落パターン

集落パターンは、必ずしも1つに絞る必要はなく、地域特性に応じて、「〇〇型と〇〇型の中間」や「新たなパターン・タイプを作ること」も可能です。

A 多世代交流・活躍

1	役員活躍型	役持ちの方が中心となって動いている (役持ちの方だけが動いているケースも含む)
2	全員参加型	さまざまな世代の方が一緒に動いている
3	高齢者主導型	年配の方(60代以上)が主に活動している 次を担う世代(40代から60代)がいない・育っていない
4	世代交代型	次を担う世代(40代から60代)が主に活動している
5	外部巻き込み型	他出子(集落から転出した子どもなど)や外部の人材との関わりが盛んである

4-2. 入力する項目(内容)

集落の見立て

集落パターン

集落パターンは、必ずしも1つに絞る必要はなく、地域特性に応じて、「〇〇型と〇〇型の中間」や「新たなパターン・タイプを作ること」も可能です。

B 情報共有

1	ツーツー型	地域の情報・昔の取組等を大体の方が把握し、共有されている ライン・回覧板などで情報共有が盛んにおこなわれている
2	特定人材共有型	役持ちなど特定の人で情報が共有されているものの、地域の方に十分に共有されていない
3	秘密主義型	資料が残っておらず、過去の情報が判らない 地域の情報を把握していない方が多い

4-2. 入力する項目(内容)

集落の見立て

集落パターン

集落パターンは、必ずしも1つに絞る必要はなく、地域特性に応じて、「〇〇型と〇〇型の中間」や「新たなパターン・タイプを作ること」も可能です。

C 地域の一体性

1	孤軍奮闘型	特定の個人が活動しているが周辺はついてきていない ワンマンな場合もある
2	サークル型	農業者・福祉関係など特定のグループのみでまとまり活動している 他のグループ・団体等との主体的な連携まで広がっていない
3	バラバラ型	活動の方向性がバラバラ、活動に反対する人がいるなど、一体性に欠ける 活動があまりできない、続かない
4	一致団結型	地域の方が一丸で活動している 他のグループ・団体等との主体的な連携まで広がっている

4-2. 入力する項目(内容)

集落の見立て

集落パターン

集落パターンは、必ずしも1つに絞る必要はなく、地域特性に応じて、「〇〇型と〇〇型の中間」や「新たなパターン・タイプを作ること」も可能です。

D 活動

1	ノリノリ型	住民が楽しみながら活動に取り組む 新しい取組も積極的に取り組む
2	なんとか継続型	恒例行事などを、続けたいといけないう意思で協力しながら続けている 取組の見直しなどが行われていない、まだできていない
3	見直し型	積極的に取組を見直したり省力化を図りながら、無理のない範囲で活動を 続けている
4	無風	何も活動はしていない・できていない

4-2. 入力する項目(内容)

集落の見立て

集落タイプ

集落タイプは、必ずしも1つに絞る必要はなく、地域特性に応じて、「〇〇型と〇〇型の中間」や「新たなパターン・タイプを作ること」も可能です。

1	ノリノリ集落	地域住民が新しい取組などを積極的に受け入れ、一体的に活動している集落
2	ヒーロー待望論型	住民に危機感が共有され変化を求めているが、活動が進んでいない集落
3	カリスマ頑張り型	一部のみの住民が活動しているものの、周りからの協力が広がっていない集落
4	群祐割拠型	色々な団体が活動しているが、相互に協力がなされていない(反発し合っている)集落
5	ほがらかのんびり型	住民の危機感が少なく、新しい取組は少ないが、地域住民が協力しながら既存活動は進めている集落
6	無風集落	危機感が薄い・諦観があるなどで、活動があまり行われず、地域住民に前向きな姿勢が見られない集落

4-2. 入力する項目(内容)

3 支援の方針、 支援の内容

実際に支援した内容、その支援を行った意図、その支援内容による地域の変化を記入します。

入力項目

- ☐ 支援テーマ
- ☐ 集落の支援方針(見立てた意図)
- ☐ 具体的に行ったこと(支援した内容)
- ☐ 支援の結果
(支援のポイント・地域に変化が起きた出来事・要因など)
- ☐ 留意事項

「地域の変化」は、支援後の地域の動きを

- ①地域がとても良くなった :↑
- ②地域が少し良くなった :↗
- ③あまり変化はない :⇒
- ④あまり良くならなかった :↘
- ⑤悪くなった :↓

の5段階で評価し、視覚的に分かりやすく表現するものです

支援をしていると、「潮目や空気が変わる場面(瞬間)」があると思います。
その瞬間が、どのような時に訪れたのかを記載してください。

- 検索性を高めるために、支援テーマをチェックリストで選択できるように作成しています。
「こういうテーマもある」という方は、**その他欄に記載してください。**

4-3. 入力・更新

●集落(地域)の概況(1/3)



POINT!

- ・必須項目がすべて入力されていないと、次のページに進めません。
- ・下書き機能はありません。

1 集落(地域)の概況

下記により、集落(地域)の状況について、入力をお願いいたします。

必須 地域

☒ 神戸 ☐ 阪神南 ☐ 阪神北 ☐ 東播磨 ☐ 北播磨 ☐ 中播磨 ☐ 西播磨 ☐ 但馬 ☐ 丹波
☐ 淡路 ☐ 県外

支援を行った「地域」を選択ください。

支援を行った「地域」を選択ください

必須 集落(地域)名 ※非公開

〇〇市〇〇自治会

支援を行った「集落(地域名)」を入力ください。入力いただいた具体的な「集落(地域名)」は閲覧ページ上、非公開となります。

支援を行った「集落(地域名)」を入力ください
入力いただいた具体的な「集落(地域名)」は閲覧用
ページ上、非公開となります

人口(単位:人)

支援を行った地域の「人口」の実数を入力
ください。詳細が不明の場合はおよその数
をご記入ください。

必須 人口(区分)

☒ ~20人 ☐ 21~50人 ☐ 51~100人 ☐ 101~200人
☐ 201~400人 ☐ 401~1000人 ☐ 1001人~ ☐ 不明

左記の「人口」に応じ、区分を選択ください。

支援を行った地域の「人口」の実数を入力の上、各々
の区分を選択ください
詳細が分からない場合は、「不明」を選択してください

4-3. 入力・更新

●集落(地域)の概況(1／3)

世帯数（単位：世帯）

支援を行った地域の「世帯数」の実数を入力ください。詳細が不明の場合はおよその数をご記入ください。

必須 世帯数（区分）

☒ ～20世帯 ☐ 21～50世帯 ☐ 51～100世帯 ☐ 101～200世帯
☐ 201～400世帯 ☐ 401～1000世帯 ☐ 1001世帯～ ☐ 不明

左記の「世帯数」に応じ、区分を選択ください。

高齢化率（単位：％）

支援を行った地域の「高齢化率」の実数を入力ください。詳細が不明の場合はおよその数をご記入ください。

必須 高齢化率（区分）

☒ 20%未満 ☐ 20～40% ☐ 41～60% ☐ 61～80%
☐ 81%以上 ☐ 不明

左記の「高齢化率」に応じ、区分を選択ください。

必須 人口・世帯数・高齢化率情報の時点

上記で入力いただいた「人口」、「世帯数」、「高齢化率」がいつ時点のものが入力ください。

支援を行った地域の「世帯数」「高齢化率」の実数を入力の上、各々の区分を選択ください
詳細が分からない場合は、「不明」を選択してください

「人口」「世帯数」「高齢化率」のデータがいつ時点のものが入力ください

4-3. 入力・更新

●集落(地域)の概況(1／3)

必須 支援のエリア

☐ 単一集落・自治会 ☐ 複数集落・自治会 ☐ 小学校区・旧小学校区 ☐ その他

支援を行った「エリア」を選択ください。

支援のエリア（その他を選択した場合記載）

支援のエリアの「その他」を選択された場合は、その詳細を入力ください。

必須 集落の特性

☐ 農村型 ☐ 山間部型 ☐ 漁村型 ☐ 旧まちなか型 ☐ 市街地型 ☐ その他

支援を行った「集落の特性」を選択ください。

集落の特性（その他を選択した場合記載）

集落の特性の「その他」を選択された場合は、その詳細を入力ください。

支援を行った「エリア」を選択ください
「その他」を選択された場合は、詳細を入力ください

支援を行った「集落の特性」を選択ください
「その他」を選択された場合は、詳細を入力ください

4-3. 入力・更新

●集落(地域)の概況(1／3)

集落の特徴

例) ニュータウンと旧集落の混在、公営住宅、オールドニュータウンなど（自由記述）

支援を実施する上で考慮した「集落の特徴」を入力ください。

集落の課題

例) 高齢化、人口流出等による担い手不足、集落活動の維持など（自由記述）

支援を実施する上で考慮した「集落の課題」を入力ください。

1ページ目 全3ページ

< 戻る

次へ >

その他、支援を実施する上で考慮した「集落の特徴」及び「集落の課題」を入力ください

上記すべての入力が完了しましたら、1ページ目の入力は完了です「次へ」を押してください

4-3. 入力・更新

●集落(地域)の概況(2／3)

✓ 1 集落(地域)の概況

2 集落の見立て(支援に入る前)

3 支援の方針、支援の内容

2 集落の見立て(支援に入る前)

各集落の状況を踏まえ、集落の見立てを下記により行ってください。

各集落パターンの判断については[こちら](#)を参照ください。

必須

パターンA 多世代交流・活躍

☐ 役員活躍型 ☐ 全員参加型 ☐ 高齢者主導型 ☐ 世代交代型 ☐ 外部巻き込み型 ☐ その他

集落内の「多世代交流・活躍」の状況について、各パターンより選択ください。

その他を選択した場合記載

「その他」を選択された場合は、その詳細を入力ください。

集落のパターン分けに関してはリンク先の資料を参考ください

集落内の「多世代交流・活躍」の状況について、各パターンより選択ください
「その他」を選択された場合は、詳細を入力ください

4-3. 入力・更新

●集落(地域)の概況(2／3)

必須 パターンB 情報共有

☐ ツーツー型 ☐ 特定人材共有型 ☐ 秘密主義型 ☐ その他

集落内の「情報共有」の状況について、各パターンより選択ください。

その他を選択した場合記載

「その他」を選択された場合は、その詳細を入力ください。

必須 パターンC 地域の一体性

☐ 孤軍奮闘型 ☐ サークル型 ☐ バラバラ型 ☐ 一致団結型 ☐ その他

集落内の「地域の一体性」の状況について、各パターンより選択ください。

その他を選択した場合記載

「その他」を選択された場合は、その詳細を入力ください。

集落内の「情報共有」の状況について、各パターンより選択ください
「その他」を選択された場合は、詳細を入力ください

集落内の「地域の一体性」の状況について、各パターンより選択ください
「その他」を選択された場合は、詳細を入力ください

4-3. 入力・更新

●集落(地域)の概況(2／3)

必須 **パターンD 活動**

☐ ノリノリ型 ☐ なんとか継続型 ☐ 見直し型 ☐ その他

集落内の「活動」の状況について、各パターンより選択ください。

その他を選択した場合記載

「その他」を選択された場合は、その詳細を入力ください。

必須 **集落タイプ**

☐ ノリノリ集落 ☐ ヒーロー待望論型 ☐ カリスマ頑張り型 ☐ ほがらかのんびり型 ☐ 無風集落

☐ その他

上記の集落パターンを総じて、「集落タイプ」について、各パターンより選択ください。

その他を選択した場合記載

「その他」を選択された場合は、その詳細を入力ください。

集落内の「活動」の状況について、各パターンより選択ください
「その他」を選択された場合は、詳細を入力ください

「集落タイプ」について、各パターンより選択ください
「その他」を選択された場合は、詳細を入力ください

4-3. 入力・更新

●集落(地域)の概況(2／3)

集落の総評

集落の将来像

集落のパターン、タイプを踏まえ、「集落の総評」を入力ください

集落のパターン、タイプを踏まえ、「集落の将来像」を入力ください

「集落のパターン」、「集落のタイプ」を踏まえ、「集落の総評」を入力ください。

「集落のパターン」、「集落のタイプ」を踏まえ、「集落の将来像」を入力ください。

2ページ目 全3ページ

< 戻る

次へ >

上記すべての入力が完了しましたら、2ページ目の入力は完了です「次へ」を押してください

4-3. 入力・更新

●支援の方針、支援の内容(3／3)

3 支援の方針、支援の内容

必須 支援テーマ

- ☐ ワガゴト化（きっかけつくり） ☐ ビジョンづくり ☐ 自治会再編 ☐ アンケート調査 ☐ RMO形成
☐ RMO運営支援 ☐ イベント企画 ☐ 空き家 ☐ 防災 ☐ デジタル ☐ その他

支援を行った際のテーマを選択ください。

その他を選択した場合記載

「その他」を選択された場合は、その詳細を入力ください。

支援を行った際のテーマを選択ください
「その他」を選択された場合は、詳細を入力ください

必須 集落の支援方針（見立てた意図）

支援を行った際のテーマに応じて、どのような支援方針をとったか入力ください。

支援を行った際のテーマに応じて、どのような支援
方針をとったか入力ください

4-3. 入力・更新

●支援の方針、支援の内容(3／3)

具体的にやったこと (支援した内容)

日付 * ※支援を行 った日付	潮目ポイント ※支援を行 った日付	支援意図 * ※なぜその支援を行 ったか	支援内容 *	キーワード * ※支援内容に沿ったキ ーワード	地域の動き * ※支援を行った結果の地 域の動き・変化	変化の方向性 ※集落への支 援を受けて、地域 運・動きにつ の評価をプル ンから選択く い。
− 📅	☐ 潮目	例) 住民の 地域への課 題意識が薄 く、地域活	例) 地域住 民を参集し て、地域課 題のワガゴ ト化を図る	例) 地域のワ ガゴト化、ワ ークショッ プ、機運醸成	例) 地域の 役職を持つ ものを中心 にWS参加 へのアプロ	選択
− 📅	☐ 潮目	例) 住民の 地域への課 題意識が薄 く、地域活	例) 地域住 民を参集し て、地域課 題のワガゴ ト化を図る	例) 地域のワ ガゴト化、ワ ークショッ プ、機運醸成	例) 地域の 役職を持つ ものを中心 にWS参加 へのアプロ	選択
− 📅	☐ 潮目	例) 住民の 地域への課 題意識が薄 く、地域活	例) 地域住 民を参集し て、地域課 題のワガゴ ト化を図る	例) 地域のワ ガゴト化、ワ ークショッ プ、機運醸成	例) 地域の 役職を持つ ものを中心 にWS参加	選択

+

※地域へ行った支援内容を時系列に沿って入力ください。
※「潮目ポイント」・特に地域に大きな変化があったと思われる支援内容をチェックボックスで選択ください。

潮目ポイントの理由

潮目ポイントの理由を記載ください。

地域へ行った主な支援内容を時系列に沿って入力ください

- ・支援を行った日付
- ・潮目ポイント(潮目や空気が変わる場面(瞬間))
- ・支援意図
- ・支援内容
- ・支援内容に沿ったキーワード
- ・支援を行った結果の地域の動き(変化)
- ・その変化が地域にとってどのような影響を及ぼしたか表す指標など、複数項目がありますのでご注意ください

行を追加する場合は、画面下部の「+」を押してください

支援した内容の中に潮目ポイントがあった際に、その理由を入力ください

4-3. 入力・更新

●支援の方針、支援の内容(3／3)

必須 支援の結果（支援のポイント・地域に変化が起きた出来事・要因など）

支援の結果やポイントなどを入力ください。

留意事項

その他留意事項・特記事項があれば、入力ください。

参考資料

参考資料（支援内容の概要をまとめた資料、地域への説明資料、支援当日の様子がわかる写真）などがあれば、下記により添付願います。
参考資料内に個人情報等の記載がある場合は、該当部分を削除いただくなど、ご注意ください。

添付ファイル1

添付ファイル2

添付ファイル3

ファイルを選択

最大10MB

ファイルを選択

最大10MB

ファイルを選択

最大10MB

支援の結果やポイントなどを入力ください

その他、留意事項・特記事項あれば記入ください

参考資料(支援の際に使用した資料、支援当日の写真)等あれば添付ください
参考資料内に個人情報等の記載がある場合は、該当部分を削除いただくなど、ご注意ください

4-3. 入力・更新

●支援の方針、支援の内容(3／3)

必須 作成者名

支援者の氏名を入力ください。

必須 作成者連絡先（メールアドレス）※非公開

連絡の取れるメールアドレスを記載ください。閲覧ページ上は非公開とします。

必須 支援状況

選択

入力いただいた支援実績について、「支援完了」、「一時中断」、「支援継続中」などの状況を選択ください。

その他の支援者

例) ●●市●●課、●●地域再生アドバイザー

入力いただいた支援実績について、連携を行った支援者がいれば、入力ください。

必須 今回の事例の入力区分

選択

入力いただいた支援実績について、「新規に入力いただいた事例」か「既に入力した事例の更新」かを選択ください。

3ページ目 全3ページ

戻る

確認

支援者のお名前とメールアドレスを入力ください
メールアドレスは閲覧ページ上、非公開とさせていただきます

入力いただいた支援実績について、現在も継続して支援を行っている場合はプルダウンより「支援継続中」を選択ください

入力いただいた支援実績について、連携を行った支援者がいれば、入力ください

入力いただいた支援実績について、「新規に入力いただいた事例」か「既に入力した事例の更新」かを選択ください

全て入力後「確認」ボタンを押してください
「確認」ボタンを押した後、入力内容の確認画面が表示されます
内容を確認後、「回答」ボタンを押した後、入力内容が閲覧用ページへ反映されます

5. Q&A(こういう時どうする?)

5. Q&A(こういう時どうする?)

●登録について

Q 登録するメールアドレスは、団体や部署などの代表メールでもよいか。

A 異動等があることを踏まえ、代表メールで登録できます。連絡がつく担当者名を登録してください。

Q 登録は、誰でも承認されるのか。

A 個人情報なども扱うため、多自然地域づくりアドバイザー、行政関係者(市町等)、中間支援組織、社会福祉協議会など支援者の方に限ります。県で申請内容を確認の上、承認可否を検討します。

Q 登録するとすぐに利用できるのか。

A 県で申請内容を確認・承認の検討を行うため、即時に利用することはできません。

5. Q&A(こういう時どうする?)

●入力する支援実績(案件)について

Q 入力する支援実績(案件)は、県外の支援実績(案件)でもよいか。

A 構いません。

Q 人口等は正確な数字が必要か。

A 正確な数字が分からない場合は、「およその数」を記載してください。

Q 人口等は支援開始時の数字になるか。

A いつの時点でも構いませんが、その人口等がいつのものか分かるように記入してください。

Q 支援に至らなかった案件も記載してよいか。

A 構いません。「どの段階で、どのように判断したのか」等を含めて記載してください。

5. Q&A(こういう時どうする?)

●入力する支援実績(案件)について

Q 支援に空白期間があり、しばらくして再度支援に入った場合は、別の支援実績(案件)として考えるのか。

A 支援に空白期間があり、しばらくして再度支援に入った場合は、別事例とします。支援が途中で中断した場合は、支援状況のところに「一時中断中」と記載してください。

Q 支援のテーマが複数に及ぶ場合でも、1つの支援実績(案件)として考えるのか。

A 支援テーマごとに1事例として扱います。支援の途中でテーマが変わった場合は、別の支援実績(案件)として記載してください。その場合は、留意事項のところに「○番の事例に続く」など、続きがあることが分かるように記載してください。

Q 支援と関係がないところで地域に変化が生まれた場合は、その旨を記載するのか。

A 地域の変わり目となった事項等を把握したいため、記載してください。また、その時に支援者の立場として「何をしたのか」、「何を考えたのか」を記載してください。

5. Q&A(こういう時どうする?)

●その他

Q 多自然地域づくりアドバイザーの場合、知恵袋に記載した内容で評価されるのか。

A 多自然地域づくりアドバイザーの評価には関係ありません。

Q 記載された内容を、もっと詳しく知りたい場合はどうすればよいか。

A 担当課の多自然地域づくり班までご連絡ください。必要に応じて支援者等とお繋ぎします。

Q 自治体職員であり、直接的な支援を行っていない場合でも入力してよいか。

A 「多自然地域づくりアドバイザーに支援を求めた経緯」、「どういう視点で支援者を選んだのか?」、「集落の何に課題を感じたのか」など、支援に入るに至った経緯を記載してください。